（別紙３）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	JUNIOR LINE			
○保護者評価実施期間	令和8年10月19日		～	令和8年11月2日
○保護者評価有効回答数	8名		（回答者数）	6名
○従業者評価実施期間	令和8年10月19日		～	令和8年11月2日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	９名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年11月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職の評価を踏まえた個別支援	発達状況に応じて課題と関わり方を調整している。	評価と支援内容の共有を継続する。
2	保護者との情報共有	支援後に活動の様子を伝えている。	家庭で実践しやすい提案を増やす。
3	視覚的な環境調整	予定や活動の流れを見通せるよう工夫している。	利用者に応じた環境調整を見直す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	振り返りの時間確保	支援記録を通じて職員間で情報共有している。	短時間の定期的な振り返りを設定する。
2	関係機関との連携	必要に応じて園・学校等との連携を図っている。	保護者の同意を得て情報共有の方法を整える。
3			